

報道関係 各位

川崎医学会主催 市民公開講座（第 599 回川崎医学会講演会）

ケニア・シロアムの園の障がいのあるアミチたちが教えてくれた
『人としてプロとして成長する』ということ
ーシロアムの園 代表 公文 和子先生の講演ー

この度、川崎医学会*では、小児科医でありケニアの障がい児支援施設「シロアムの園」^{その}代表である公文 和子先生をお招きし、講演会を開催します。

「シロアムの園」では、障がいのある子どもたちを「アミチ(友達)」と呼んでいます。重い障がい、偏見、貧困の中に生きるアミチとの出会いは、スタッフ自身の価値観や専門職としての姿勢を大きく変えてきました。当初関わりに戸惑っていた若者たちも、日々を共にする中で「できないこと」ではなく、その人の願いや喜びを見るようになり、支える側・支えられる側を超えた「人と人として互いに与え合う関係」へと変化していきます。本講演では、アミチとの歩みを通して医療者として成長すること、そして障がいのある人と関わる原点を共に考えます。

通常は会員を対象に開催する講演会を、今回は特別に一般の方々も参加できる市民公開講座として開催します。

日 時： 10 月 19 日(月) 17:00～18:00（開場 16:30）

会 場： 川崎医科大学附属病院 本館棟 8 階大講堂（倉敷市松島 577）

対 象： 一般、教職員、学生

※事前申込不要。参加無料。詳細は別紙チラシをご参照ください。

■ 公文 和子 先生 プロフィール

経歴: 1994 年に北海道大学医学部を卒業後、道内の病院勤務を経て 2000 年にイギリス・リバプールへ留学(熱帯小児学)。東ティモール、シエラレオネ、カンボジアなど紛争地・内戦地で医療に従事。

ケニアでの活動: 2002 年に JICA 専門家派遣によりケニアでの活動を開始し、国際 NGO での勤務を経て、2015 年にナイロビ郊外で重度障がい児の医療・ケア・社会受入を目指す「シロアムの園」を立ち上げる。

メディア・受賞歴: NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』や TBS 系『情熱大陸』など多数のメディアで紹介。2022 年に国際ソロプチミスト日本財団より「千嘉代子賞」を受賞。

*川崎医学会とは、川崎医科大学の学長が会長を務める学会です。川崎医科大学および附属病院の教員などを中心に、医学の研究を奨励し、会員相互の学識を高め、医学の進歩に貢献することを目的として 1975 年に設立されました。

＜問合せ先＞

川崎医科大学 中央教員秘書室
川崎医学会講演会担当

Tel: 086-462-1111(代)内線: 26036

E-mail: kouenkai@med.kawasaki-m.ac.jp



川崎医学会主催 市民公開講座 第599回川崎医学会講演会

日時

2026年 **10**月**19**日(月) 17:00~18:00
(開場16:30)

場所

川崎医科大学附属病院 8階大講堂 (倉敷市松島577)

*病院2階玄関からお入りいただき、中央エレベーターで8階へお上がりください。

【挨拶】川崎医科大学 学長 砂田 芳秀

【座長】川崎医科大学 公衆衛生学 教授 依田 健志

演題

ケニア・シロアムの園の障がいのあるアミチ
たちが教えてくれた『人としてプロとして成
長する』ということ

入場
無料

(事前申込不要)

講師

シロアムの園 代表 小児科医 公文和子先生

講師プロフィール

1994年に北海道大学医学部を卒業後、道内の病院勤務を経て2000年にイギリス・リバプールへ留学(熱帯小児学)。東ティモール、シェラレオネ、カンボジアなど紛争地・内戦地で医療に従事。2002年にJICAの専門家派遣によりケニアで活動を開始し、国際NGOでの勤務を経て、2015年にナイロビ郊外で重度障がい児の医療・ケア・社会受入を目指す「シロアムの園」を立ち上げる。

NHK『プロフェッショナル・仕事の流儀』やTBS系『情熱大陸』など多数のメディアで紹介。2022年に国際ソロプチミスト日本財団より千嘉代子賞を受賞。



お問い合わせ先

川崎医科大学 中央教員秘書室

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577番地

Tel : 086-462-1111 (内線26036)

E-mail : kouenkai@med.kawasaki-m.ac.jp

駐車場

第一駐車場をご利用ください。
サービス券をお渡しします。

駐車場はここ

入口/附属病院2階玄関



川崎医科大学